

# 波 紋

1990

# 2

## 森松恒例書き初大会

仕事面・私生活においてそれぞれ  
今年一年の目標を書きました。  
さて、一年後 結果が楽しみですね!!

コンピュータ化  
倉庫の改善  
確実を基に  
コンピュータをこなす  
伝票処理スムーズに  
モーリン二十五億円  
報・連・相  
明・元・素  
売上目標達成  
臨機応変な行動  
二号プレス 毎月の目標金額達成を  
裁断技術の向上  
裁断機を覚える  
裁断部目標三百万達成  
不良を減らす  
無駄を失くす  
森松グループ新コンピュータ  
システムの構築  
スリッター売上目標、月一三〇万ノ  
責任感  
売上達成  
新商品販売一〇〇〇万  
一歩前進  
確実に  
気配り

配送の改善  
ウェルダ部の売り上げ達成  
明るい職場を作ろう  
チームワークの確立  
貯金に励む  
ケガをしない  
料理の勉強  
親子共に健康でノ  
家族旅行  
車の買い換え  
健康管理  
女らしく  
年間貯蓄百万  
北海道スキー旅行  
年一回 家族旅行  
健康  
楽しい家庭  
元気な子  
決めた事は実行する  
英会話の勉強をする  
男児作成  
話し合い・前向きに  
皆んなで、良く遊び  
家族との対話  
年一回スキー旅行  
よく学ぶ

## 交 差 点

### 「非常識は成功の母」

何か気のきいた事を考え出そうと思ってもなかなか考えつかない。  
奇抜な発想・良い言葉・おもしろいアイデアを考え出したと思えば思う程、よい知恵が湧いてこない。かえって逆に何も考えていない時、新聞に目を通して見る。又、ラジオを聞いている時、トイレの中などで「ヒラメク」時があります。  
メモをしないと、すぐに忘れてしまいますので、身近かの用紙、手帳にメモるように習慣付けています。  
最近きいたおもしろい言葉としてメモしたのは、  
「人間は考える足である」  
「百聞は千考にあたいする」  
「非常識は成功の母」  
「モチはケーキ屋」  
と、手帳に書いてある。  
皆さんと一諸に聞いた、牧野新商品開発委員長の話の一部です。  
賞金一〇〇万円と七日間の特別休暇を最初に手にする人(グループ)は、誰でしょうね。  
楽しみます。

森 信之



## トシ君の一方通行

テレビで、ある有名大学ラグビー部の一年間の練習から試合迄の様子を見たけれど、何故あのような激しいトレーニングを我慢出来るのか、何の楽しみで頑張れるのか、試合に勝てば心の底から喜び、負ければ大の男がワンワン泣き叫ぶ。頭から血が流れようが試合を諦めない。

これは、就職が有利になるとかの次元ではなく、とにかく『勝つ』という明確な、極めて単純な目標の為であろうか、そしてこれまた勝つという目標を達成する為に、勝つ為の猛練習がある。

練習の量と質で90%決まるという。見ていてもすごい位の練習量である。

別にラグビーだけではないけど、明確な目標を達成する為に、その明確な目標が自分に納得がいけば、あそこ迄打ち込めるものなのか。

スポーツと仕事を一緒にする気は無いけれど、人生観からすればどうだろうか。

木村 英利

## 『フォーシーズン』

「白樺山荘はどこだ」

先日研修会で行なった実習のひとつです。参加された人はもちろん記憶に新しいと思います。参加されなかった人の為に簡単に説明しますと、「6〜7名のグループに別れ、16分割された地図の一部を1人に2〜3枚ずつ配り、それは見せずに口頭で自分の持っている地図の情報を仲間へ伝え、全員で時間内に一枚の地図を完成させる」というものです。これだけ聞くと容易に出来そうですが、実際やってみるとなかなか難しい。

だから、各グループかなり興奮して意見交換をしていたと思います。たとえ一人の情報でもかけたら地図が出来ないわけです。

もしこれをそばで見ているなら、たぶんすごい光景だったのではないだろうか、と思います。上司、部下、男性、女性の関係なしでバンバン意見がとびかっていたのではないのでしょうか。もし実務においてこんな会議が出来たら素晴らしいでしょうね。

- ①本音の意見がとびかう会議。
  - ②人の意見を無視しない会議。
  - ③全員が意見を持っている会議。
  - ④そして目標が明確な会議。
- これからもいろいろな会議に参加する機会があるでしょう。もし①〜④がひとつでもかけていたら、会議の価値はゼロに等しい。
- もし森松でそんな会議が行なわれているなら無意味だと思います。価値のない会議は時間の無駄であるという事が皆さんよく分かったと思いますから。

牧野 光昌

## 暮らしのエッセイ

今年も待ちに待ったスキーシーズンの到来です。ね。

モーリンスキー同好会でも、「スキー行こうか？」と誰かが言えば二つ返事で、一つは「行きたいなあ。」もう一つは「よし行こう」となり、10人位はすぐに集まります。

毎年、『今年は大雪だ』といわれながら、2月に入らないと近くのスキー場では滑れないありさまでした。

あまり大雪でも、その土地で生活している人たちは大変でしょうが、やっぱり冬は、雪が降らないと……。名古屋にも！

今シーズンは、あまりスキーにも行けそうにありませんが、身体のためにも、そして、地酒を地で飲む為にも、出来るだけスキーに出かけようと思っております。

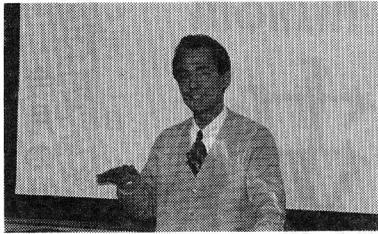
皆さん

今度雪の降っている所に行ったならば、どんな音を出しながら、どんなふうには雪は降っているのか、耳と身体で感じて下さい。

きっと、いろいろな音があるはずですよ。

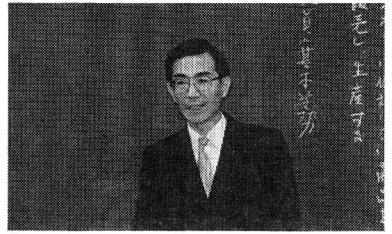
下垣 紀一



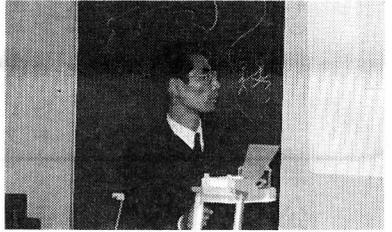


## 第1回 研修会 (90年1月6日～7日)

- ① モーリンの1990年
- ② コンピューター化による合理化の説明とお願い
- ③ 新商品の企画・上市の重要性の説明と社員への協力要請
- ④ 高周波の基本知識
- ⑤ スリッターの基本知識



第1回 研修会の講師の皆様、たいへんご苦労様でした。  
正月休み返上しての勉強の成果が皆に伝わり、話し手・聞き手共に真剣でした。ありがとうございました。



### 研修会の感想

第一回森松研修会(第一部)にて四名の講師(社員)による説明会が催され、その中の一人に任命されたのは、去年の暮れも押し迫った頃でした。

私の持ち場である、「高周波ウェルダの基本知識」について説明するものでして、高周波ウェルダの原理に無知な私にとっては、重大な任務でありました。加工方法については、社内にあるウェルダの機械を使用していましたから、身体では覚えていたのですが、理論付けて説明すると言うと、当時の知識では到底無理でした。が、その任務を受けたその日から、「プレッシャー」という重い荷物を背負って、色々な方に、情報・データを聞き集める様になり、今迄、頭の中で理解しえなかつた事が、一つずつ解消されていくのに喜びを感じていったものです。当日は、やるからには大きな声で今迄、集めた情報と知識を皆さんに聞いて頂くよう努力はしたつもりですが、初めての挑戦は、そんなにうまくいくものではありませんでした。真剣に聞いて下さった皆さんの姿勢に、心から御礼を言います。

冷静に自分の発表を分析できる様になったのは、その夜の風呂の中でした。

「後悔先に立たず。」と思いがら湯につかっていました。しかし、この経験は、自分の人生にとって、大きな財産になったのは、確実でこれからこの数週間に行った行動を継続して頑張っていくつもりです。

又、この社員研修会を開く会場を提供して下さいた新日本法規出版様には、大変御世話になり有難とう御座居ました。

西田 聖一

### 研修会の感想



この研修会で講師という形で、皆さんの前で30分位しゃべらせて頂きたいへん自分にとって勉強になりました。年末にこのことを聞かされた時には、おどろき、また自分にプレッシャーというものがものすごくかかって、このお正月休みに何をやるにしてもそのことが頭のどこかに残って大変でした。そして当日になり、いろいろ下準備などをしていき先輩達にもアドバイスをいろいろ頂いてのぞんだのですが、実際やってみると、グチャグチャになってしまいました。時間の経過も全然わからなくなり、順番はめちゃくちゃで自分が何を言っているのかも分からないう程緊張してしまつて、大変跡に残るものがありました。しかし、それが終わった時のホッとしたことは何とも言えない実感も味わうことが出来ました。このことが自分の成長のため的一步として、またどんどんそれがつながっていき、ばいと思つたので、またこういう経験をたくさんして自分自身大きくなっていきなあと思っています。また今度こういう機会があったら今度は絶対に自分が満足出来るよう勉強していきたいと思います。またこういういい経験をさせて頂きありがとうございました。

鳥羽 幸治

# 今月の社内行事

二月 一日 YMS

午前七時半より

二日 FMS

午前七時半より

三日 新商品委員会

午後四時より

十日 第二土曜日

十一日 建国記念日

休み

十二日 振替休日

十四日 中堅幹部会

午前七時半より

十六日 部長会議

午前七時半より

二十二日 製造会議

午後六時半より

二十四日 第四土曜日休み

訂正とお詫び

先月号の「波紋」に掲載されました弊社の休日カレンダーの中に誤りがございましたので訂正とお詫びを申し上げます。

(編) 9 / 1 (休) 日

(正) 9 / 22 (休) 日

## 第1回 社員研修会 1月6日～1日7日

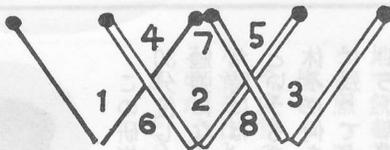


新日本法規出版(株)  
研修センター様  
大変有難う御座居ました



### ※クイズコーナー※

<答>



正解者の方には商品発送をもって発表にかえさせていただきます。



### ●編集後記

冬のスポーツ、スキークの季節がやって参りました。寒さなど吹き飛ばし、白銀の世界へと足を踏み入れて輝かしい汗を流しましょう。一度も経験したこのない方は、今年から初めてみてはいかがでしょう。

今、森松では、スキー真っ盛り!! 負傷などには、十分気を付けたいものです。一つ一つ視野を広げ、今までとは違った自分を見つけることにより、平成二年を素敵な年に:。

さて、昨年の「お誕生日紹介」を忘れずに、今年からの新企画を御期待下さい。

亀井 敏代

編集発行者  
森松株式会社  
発行責任者  
伊東 郁 二  
平成2年2月1日  
第56号